

令和3年度第9回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会、令和3年度化学物質審議会第4回安全対策部会、第221回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会

令和4年1月18日資料3－2別紙1（審議会後確定版）

プロフィール			優先度 (化審法)						優先度 (PRTR)			分解性考慮暴露クラス (化審法)				暴露クラス (PRTR)			有害性クラス							変異原性							発がん性	モニタリングデータ											
優先評価化学物質			H28実績	H29実績	H30実績	H28実績	H29実績	H30実績	優先判定時	H28実績	H29実績	H30実績	H28実績	H29実績	H30実績	優先判定時	有害性クラス	定量情報有害性クラス	変異原性有害性クラス	発がん性有害性クラス	最小有害性評価値(D値) [mg/kg/day]	該当評価項目	NO(A)EL等 [mg/kg/day]	不確実係数積(UFs)	情報源	①Ames試験 (復帰突然変異試験)	②in vitroほ乳類染色体異常試験	③その他のin vitro試験	④in vivo小核試験	⑤その他in vivo試験	⑥化管法変異原分類	情報源	発がん性分類	大気モニタリング調査名	大気モニタリング最大濃度[μg/m3]	濃度範囲[μg/m3]	検出地点数	測定地点数(欠測除く)	最大HQ	水質モニタリング調査名	水質モニタリング最大濃度[μg/L]	濃度範囲[μg/L]	検出地点数	測定地点数(欠測除く)	最大HQ
21	1，2－エポキシブタン	I	外	外	外	(外)	(外)	(外)	5	外	外	外 ^{*1}	(外)	(外)	(外)	2	2	3 ^{*2}	4	2	0.008	発がん	79.6	1,000	環境省リスク評価書	陽性	陽性	MLA陽性, Hprt陽性	陰性	DL陰性、骨髄CA陰性、マウス精子形態異常陰性	環境省リスク評価書, SIDS, NTP-DB, MAK, 安衛法有害性評価書	IARC: 2B, 産街2B, EU: 2, GHS: 区分2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
90	メタノール	I	外	外	外	－	－	－	1	1	1	1	－	－	－	2	外 ^{*3}	外	外	－	0.52	一般毒性	52	100	MAK	陰性	陰性	小核陰性, MLA陽性	陰性		SIDS, AUNICNAS, EHC, ACGIH, NTP-DB, MAK, Patty	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
103	1－オクタノール	I	低	低	低	低	低	低	3	4	4	5	5	5	5	2	4 ^{*3}	4	外	－	0.21	一般毒性	21.6	100	MAK	陰性	陽性	MLA陰性		NITE化管法, AU-NICNAS, MAK, 安衛法変異原性試験, JECFA	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
111	イソブチルアルデヒド	I	低	低	低	低	低	低	3	4	4	4	4	4	4	2	4 ^{*3}	4	外	－	0.3	一般毒性	60	200	環境省リスク評価, 食安委	陰性	陽性	MLA陽性	陰性	骨髄CA陽性	SIDS, NTP, 食安委	2015fy黒本調査	<2.2	<0.048～<2.2	0	19	<0.0029	－	－	－	－	－	－	－	
114	アセトン	I	外	外	外	－	－	－	1	2	1	1	－	－	－	4	外 ^{*3}	外	外	－	0.6	一般毒性	0.6		ATSDR	陰性	陰性	MLA陰性, 小核陰性	陰性		SIDS, EHC, ACGIH, NTP-DB, カナダEPA, AU-NICNAS, IRIS, Patty, HPV-1S, ATSDR	ACGIH: A4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
115	メチルエチルケトン	I	外	外	外	－	－	－	1	1	1	1	－	－	－	4	外 ^{*3}	外	外	－	0.56	生殖発生	557	1,000	ECHA, ATSDR	陰性	陰性	MLA陰性, 小核陰性	陰性		環境省リスク評価書, SIDS, EHC, ACGIH, IRIS, NTP-DB, AU-NICNAS, MAK, Patty, 安衛法変異原性試験, ATSDR	－	－	－	－	－	－	(2015fy黒本調査)	(1.3～1.3)	(0.05～1.3)	(20)	(20)	(0.000093)		

※1 優先評価化学物質への指定後、製造・輸入数量及び用途情報が変わった結果、暴露クラスが優先指定時から変更された。
定量評価については、令和元年度の評価1の結果、一般毒性の有害性情報を更新し、有害性評価値「0.008」を導出し、公表済み。今回、新たに発がん性の定量評価のための有害性情報が得られ、有害性評価値「0.008」を導出した。（発がん性の定性評価は有害性クラス「2」）
従来、スクリーニング評価においては発がん性に係る定量評価を行っていないため、発がん性に係る有害性評価値を有害性クラスに変換する方法は設定されていないことから、指定取消物質のスクリーニング評価と同様に、便宜的に、発がん性に係る有害性評価値が0.0005 mg/kg/day以下の場合は有害性クラス1、0.0005より

※2 も大きい有害性評価値については、一般毒性や生殖発生毒性に準ずる方法で有害性クラスを付与する（注）。
（注）「スクリーニング評価手法の詳細（案）」
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/information/ra/screening_detail.pdf
の23ページの図表1-15に示す試行結果より、発がん性に係る有害性評価値（実質安全量）がとりうる範囲から、便宜的に有害性クラスを付与する。

※3 最新の有害性情報に基づきスクリーニング評価と同様に評価を実施した結果、有害性クラスが優先指定時から変更された。

令和3年度第9回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会、令和3年度化学物質審議会第4回安全対策部会、第221回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会

令和4年1月18日

資料3－2別紙2
(審議会後確定版)

プロフィール			優先度 (化審法)			優先度 (PRTR)			分解性考慮暴露クラス (化審法)				暴露クラス(PRTR)			有害性 クラス		予測無影響濃度(PNEC)			PNEC導出元データ						モニタリングデータ						
優先評価化学物質																		根拠情報			藻類		ミジンコ		魚類		水質モニタリング(H26～H30年度)						
優先通し 番号	公示名称	評価ス テータス	H28実 績	H29実 績	H30実 績	H28実 績	H29実 績	H30実 績	優先判 定時	H28実 績	H29実 績	H30実 績	H28実 績	H29実 績	H30実 績	優先判 定時	有害性 クラス	PNEC [mg/L]	最小値 [mg/L]	不確実係 数積 (UFs)	急性 毒性値 (EC50) [mg/L]	慢性 毒性値 (NOEC) [mg/L]	急性 毒性値 (EC50) [mg/L]	慢性 毒性値 (NOEC) [mg/L]	急性 毒性値 (EC50) [mg/L]	慢性 毒性値 (NOEC) [mg/L]	水質モニ タリング 調査名	水質モニ タリング 最大濃 度[μ g/L]	濃度範囲 [μg/L]	検出地 点数	測定地 点数 (欠測 除く)	最大 PEC/P NEC	
154	クロロベンゼン	I	低	低	低	低	低	低	4	5	5	5	5	5	5	1	3※1	0.024	0.247	10	11.4	3.3	12.9	0.719	6.6	0.247	2014fy 黒本調 査	0.37	<0.0001 4～0.37	12	19	0.015	
194	1, 1, 1, 3, 3, 3－ヘキサ メチルジシロキサン	I	外	外	外	－	－	－	4	外	外	外※2	－	－	－	1	1	0.00046	0.46	1000	>	0.55	0.045	>	11	0.08	0.46	－	－	－	－	－	－

※ 1 最新の有害性情報に基づきスクリーニング評価と同様に評価を実施した結果、有害性クラスが優先指定時から変更された。
※ 2 優先評価化学物質への指定後、具体的な用途情報が届出された結果、暴露クラスが優先指定時から変更された。